

氏名	三 野 章 呉		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学 位 授 与 番 号	博乙第 2047 号		
学 位 授 与 の 日 付	平成元年 9 月 30 日		
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）		
学 位 論 文 題 目	ネコの前庭視床投射と頭位変化に関する研究		
論 文 審 査 委 員	教授 堀 泰雄	教授 大月三郎	教授 徳永 勲

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

HRP 法によるネコの前庭視床投射系の検索とこの系がネコの頭位に及ぼす効果について検討した結果、前庭神経核から視床後部外側腹側（VL）核およびその近傍への投射は両側性で、前庭上位核からは対側優位に、内・外側核からは同側優位に投射していた。慢性埋込電極で前庭神経核を刺激すると同側への turning と対側への tilting の混在した頭位変化が生じた。これに視床破壊を加えると、同側への turning はどちら側の視床破壊でも軽減し、同側への turning は前庭・網様体・視床系の同側への turning 系と、対側の視床・線状体系を介する対側への turning の 2 つの系が賦活された結果であると考えられた。一方、対側への tilting は中脳腹内側被蓋野（VMT）の破壊で惹起されるが、前庭神経核の刺激でも生じ、その視床破壊の効果は左右いずれの側の破壊でも弱く、tilting は残存した。従って対側への tilting に関与する系は、前庭核から対側の VMT 領域を経て視床 VL 核へ至る系が重要であるが、基底核・中脳からの下行路も複雑に関与しているものと考えられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

HRP 法により、ネコの異常頭位発生に関与する前庭視床投射系すなわち視床後部外側腹側核およびその近傍への投射は両側性であることを明らかにした。また異常頭位のうち turning は両側視床破壊で消失するが、tilting は消失しなかったので、上記の投射系以外に、基底核、中脳からの下行路の関与も示唆された。本研究は異常頭位研究の分野で重要な新知見を加えたものである。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。